

	の駅えびの高原、えびの市営えびの高原キャンプ村、九州最南端の屋外スケート場、池巡り自然探勝路をはじめとする霧島山系の各種登山道（4つの登山道）等	
⑥ 対象地周辺の一般的なイメージ	えびの高原は、国立公園内にありシンボルともいえる韓国岳を始め、えびの岳、白鳥山、硫黄山を擁し、周辺には複数の火口湖があり四季折々の豊かな景色を楽しめる県内有数の観光地である。	
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	えびの高原の利用の現状や課題を踏まえた全体ビジョン（基本的方向とその展開）に沿った内容検討を行う。	
5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
①施設名称		
②施設の延床面積		
③建物の構成(構造、階数)		
④主な施設の内容、導入機能		
⑤運営状況 （運営主体、事業手法 等）		
⑥その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）		
5-2. インフラ系 （上下水道、道路等）		
① 施設名称	現状は更地	電気：県道沿いから受電 上水道：浄化タンクから引用 下水道：なし ガス：都市ガスなし
②規模、能力 等		
③運営状況 （運営主体、事業手法 等）		
④その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）		
6. 事業環境		
①人口、高齢化率	えびの市人口：18,791人（男8,854人、女9,937人） 高齢化率：39.2%（平成28年10月）	
②対象地周辺の人口構成	対象地周辺に民家無し 昼間は周辺施設の従業員と旅行者で賑わうが、夜間はえびの高原荘の従業員と宿泊客のみとなる	

③市民意見等	えびの高原跡地への宿泊施設の誘致については、地元えびの市の悲願である。
7. 事業関連	
①現状及び課題	えびの高原地域の課題には、二次アクセスの充実とアクティビティの充実であり、インバウンドを含めた利用者の滞在を長期化する魅力づくりや受け入れ体制の充実が求められている。 えびの高原全体の魅力を向上するには、本事業における宿泊施設の整備と当該施設を中心とした周辺施設との連携が必要・不可欠である。
②目的、考え方・基本方針	基本的方向 ：何度も訪れたいくなる・泊まりたいくなる国立公園づくり
③前提条件	訪日外国人（特に欧米系やアジアの FIT 層等）や国内の富裕層をターゲットとする。
④事業スケジュール(案)	平成 30 年度中に公募開始予定
8. 対話内容 ※意見・提案を求める内容 をご記入ください。	事業の実現性、事業環境・用地の評価、導入施設の考え方、本事業への関心、周辺エリア全体の魅力向上策
9. 対話を希望する業種 ※該当する番号に○(複数可) 注)希望する業種の事業者の参加 を確約するものではありません。	①設計 ②建設 3.ビル管理 4.金融 5.保険 6.不動産 ⑦運営 ⑧その他（ホテル経営)

■ 添付資料

- ・霧島錦江湾国立公園ステップアッププログラム 2020
- ・えびの集団施設地区の主要施設の配置
- ・事業用地の概要
- ・霧島錦江湾国立公園満喫プロジェクト（えびの高原全体ビジョン）
- ・自然公園法に基づく国立公園事業（宿舍事業）について